

「わんどの木育」普及推進事業 (青森県)



<3つのポイント>

- ・「木育キャラバン」をきっかけに木育活動の機運を醸成。
- ・多様な関係者で「わんどの木育普及推進委員会」を構成し、木育の普及方策を検討。
- ・普及啓発、体験教室、人材育成等にバランス良く取り組んでいる。

「わんど」とは、青森県津軽地方の方言で「わたしたち」を指します。これまで青森県では、植樹・育樹作業や木工教室などの「森林・林業体験」の活動を行ってきましたが、平成26年度からは「木育」という観点からの取組も進めています。未就学児を対象に、県産材のおもちゃなどとのふれあいを通じて木に親しみ、木の良さや利用の意義を学んでもらうための活動を中心に展開されています。

<きっかけ>

- ・「木育キャラバン」の開催(弘前市)。
- ・弘前市は「木材利用推進基本方針」の中に木育の推進を施策の一つとして位置づける。
- ・弘前市が、活動の拠点となる「弘前市駅前こどもの広場」を開設。
- ・中南地域において木育活動を推進する機運が高まる。
- ・県内全域へ木育を普及するため、中南地域においてモデル事業に着手。

<目的>

森林資源に恵まれた青森県において、子どもの頃から木を取り入れた生活の中で、木製玩具を通じて木に親しみ、人と木や森とのかかわり、木の良さや利用の意義を感じることで、森林づくりの大切さを考えられる豊かな心を育むこと。

<内容>

- 1 「わんどの木育」普及推進事業
 - (1) 平成26～27年度(2カ年度実施分)
 - 県の重点事業として、主に未就学児を対象として、木製玩具を活用した木育及び普及啓発を実施。
 - ・「わんどの木育」普及推進委員会の開催(5回)。
 - ・市町村イベント等における「木育」普及啓発(25回:子どもから高齢者までのべ10,600人参加)。
 - (2) 平成26年度実施分
 - ・木育一日体験教室
(25園実施:園児及び保護者1,300人参加)
 - ・木育リーダー育成研修(2回)
 - (3) 平成27年度実施分
 - ・木育モデル園における活動(15回)
 - ・木育手引書の作成及び配布
- 2 木製玩具を活用した「木育」の推進(平成28年度以降)
 - 「わんどの木育」普及推進事業が好評であったことから、木製玩具を活用した木育及び普及啓発を行った。
 - ・木製玩具の貸し出し
 - ・市町村のイベント等における「木育」普及啓発

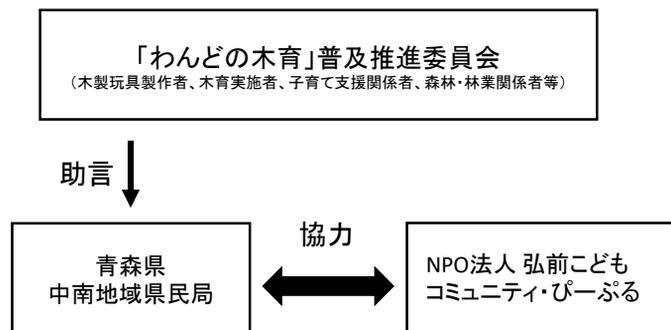
<経費>

経費:6,471千円(H26:3,078千円、H27:3,393千円)
財源:県単事業費

<関連法令>

青森県森林・林業基本方針

<実施体制>



身近な葉っぱを
観察

積み木で遊ぶ
大人と子ども



<問い合わせ先>

青森県中南地域県民局 地域農林水産部 林業振興課 TEL: 0172-33-3857

<ここに注目!>

この取組の中で制作された「こどもたちのための「木育」手引書」は、これから木育をはじめる人の参考になるような活動の進め方やポイントが上手く整理されています。